



実験結果説明

研究リテラシー入門シリーズ：研究の世界B



京都大学高等教育研究開発推進センター
情報メディア教育開発部門
小山田耕二

研究リテラシー入門シリーズ



スケルトンに基づいた説明

- 論文スケルトンについて数分説明・質疑応答
 - 主旨に沿ったタイトルがついているか？
 - 最近のマンガについて ×
 - 最近のマンガにおける急増する暴力シーン ○
 - 論文の体裁は適切か？
 - 主旨は何か？
 - 仮説は何か？
 - 仮説をどのように検証しようとしているか？
 - 締め切り日までに図表含めてA4 2枚程度に収まるように各段落を充実させられるか？



発表するまで

海保博之編著, "プレゼンテーション", 共立出版, ISBN4-320-00888

- □頭発表の利点
 - 迅速性が高い
 - 身振り手振りによる内容のアクセント
 - 質疑応答の機会
- 発表に臨む心構え
 - 目的の確認
 - 報告する相手を知る
 - 報告内容を確定する
 - 内容に自信を持つ
 - 報告の場にあったメディアの選択
- 発表の準備
 - 発表の骨組みとなる事実を確認する
 - 発表シナリオを書く
 - レジメをつくる
 - リハーサルをしっかりと行う



発表する

海保博之編著, "プレゼンテーション", 共立出版, ISBN4-320-00888

- ゆとりをもってわかりやすく話す
 - 「参加者が大勢であっても相手はひとり」の気持ちで
 - 上手に話すよりわかりやすく
 - イメージをとらえてゆっくりと
 - 自信のある話し方で
 - 言い訳は禁句
- 導入と運びのメリハリが必要
 - 導入に工夫
 - 説明に入る前に全容を
 - 順序だてて簡潔に
 - ポイントの数をあらかじめ示す



発表を終えるにあたって

海保博之編著, "プレゼンテーション", 共立出版, ISBN4-320-00888

- 発表を締めくくる
 - 要約をきちんと行う
 - 所感は述べないほうがよい
- 質疑応答を活用して補足する
 - 質問を想定する
 - 質問を促す